

取扱説明書

セレックスバルブ

AM4F010

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用していただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

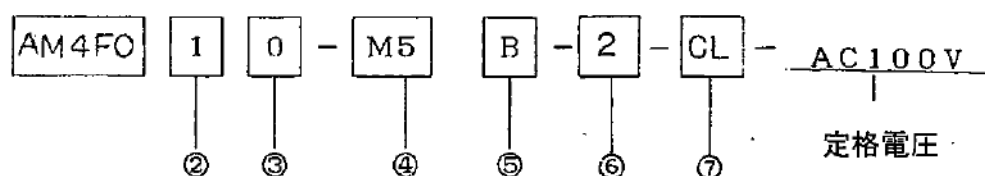
お客様によって使用される用途は多岐多様にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の使用の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- 電気配線接続部(裸充電部)に触れると感電する恐れがあります。配線時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。



※上記形番は、2位置シングルソレノイド、電磁弁、接続口径M5 DIN端子箱、手動ノンロック電圧AC 100V50Hz、2連

②	切換位置区分
1	2位置シングル
2	2位置ダブル
③	操作区分
0	電磁弁
④	接続口径
M5	M5
06	PT1/8
⑤	オプション
無記号	手動ノンロック
M1	手動 集中排気L金具付
M4	手動 防塵カバー付ノンロック式
R	手動装置の位置変更
B	DIN形端子箱
C	コネクタ リード線 300mm付
C1	コネクタ リード線 なし
C2	コネクタ リード線 300mm付 ランプサージキラー付
C3	コネクタ リード線 なし ランプサージキラー付
S	サージキラー添付
⑥	連数
2	2連
1	1
10	10連
⑦	排気方式取付金具 ※取付金具は添付(注)
CL	集中排気L金具付
CU	集中排気U金具付
IL	個別排気L金具付
IU	個別排気U金具付

(注) 取付金具の組付けねじ締付トルク
3.0~3.5 N・m

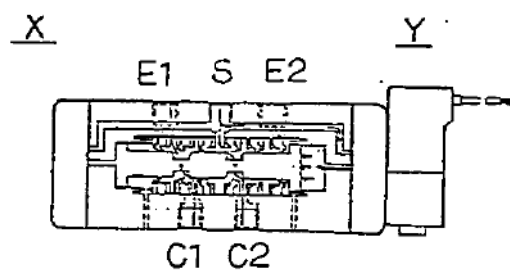
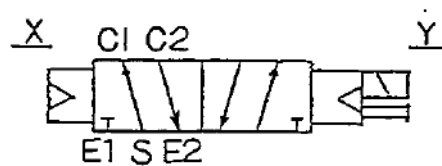
動作説明

非通電時

S (SUP) から C1 (CYL1) へ, C2 (CYL2) から排気 E2 (EXH2) へ。

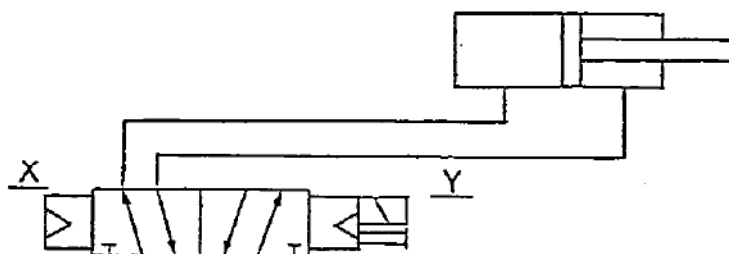
Y側通電時

S (SUP) から C2 (CYL2) へ, C1 (CYL2) から排気 E1 (EXL1) へ。

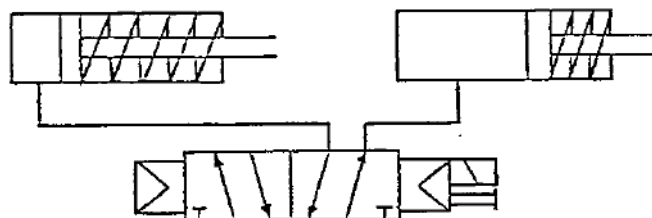


使用・配管方法・適用

1. シリンダに配管する場合、この電磁弁の C1, C2 のポートにシリンダのおのもののポートを接続する。



2. 単動シリンダに使用する場合は、この電磁弁の片側のポートを使用し 3 ポート弁として使えます。



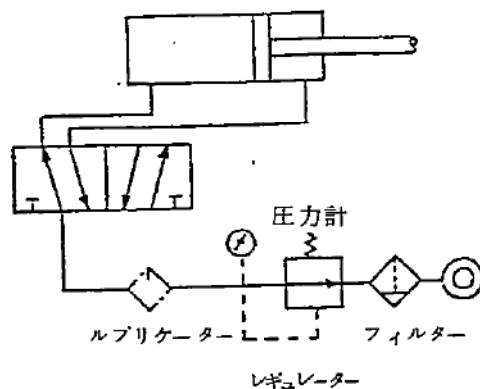
3. その他

- (1) この電磁弁は 2 ポジションタイプです。ニュートラルポジションではありません。
- (2) シリンダのスピードコントロールを要求する場合はスピコンを EXH 側に接続してください。

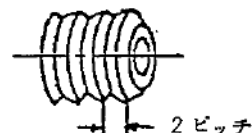
注 意 事 項

1. 保護の為電気回路には、0.5 ~ 1 A のヒューズを入れてください。
2. 回路にはリレーまたはマグネット SW のようなスナップアクションのものを入れてください。

配管上の注意事項

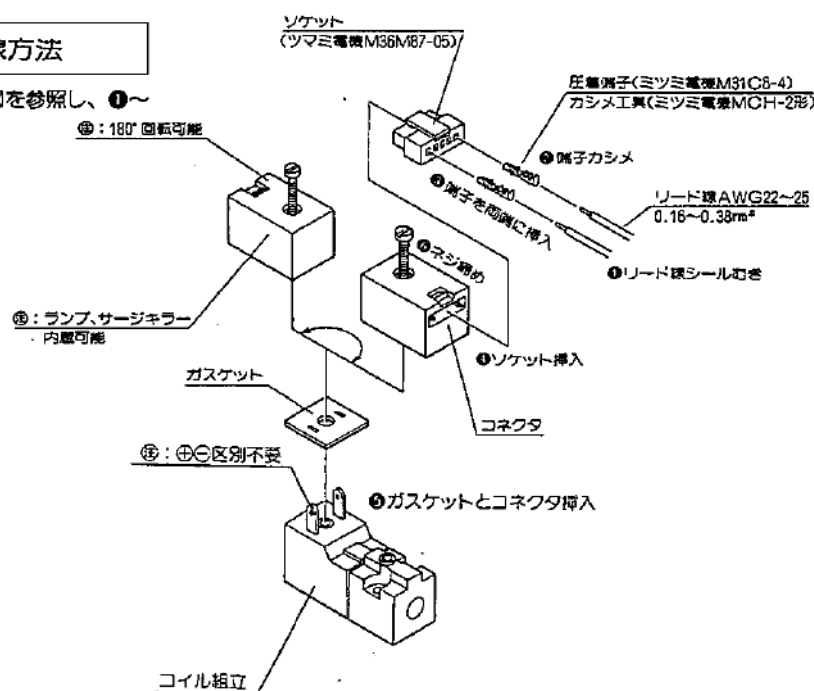


1. 配管は、流量が充分とれるサイズのものを使用する。
2. 電磁弁を取り付ける前に配管をきれいにしておいてください。
 - 1) エアフラッシングをして、ゴミを取り除いてください。
 - 2) シールテープは端面から1～2ピッチ程離してまくこと。
3. フィルタは必ず入れてください。そして、もし必要ならバルブの側にルブリケーター（タービン油1種 ISO VG32）を入れてください。
4. このルブリケーターで電磁弁に必要以上給油しないでください。
5. 配管に際して、震動やショックの少ない所を選んでください。
6. 配管後、エアをかけて各所からもれのないことをチェックしてください。
7. メンテナンスサービスする場合の工具スペースをあけておいてください。



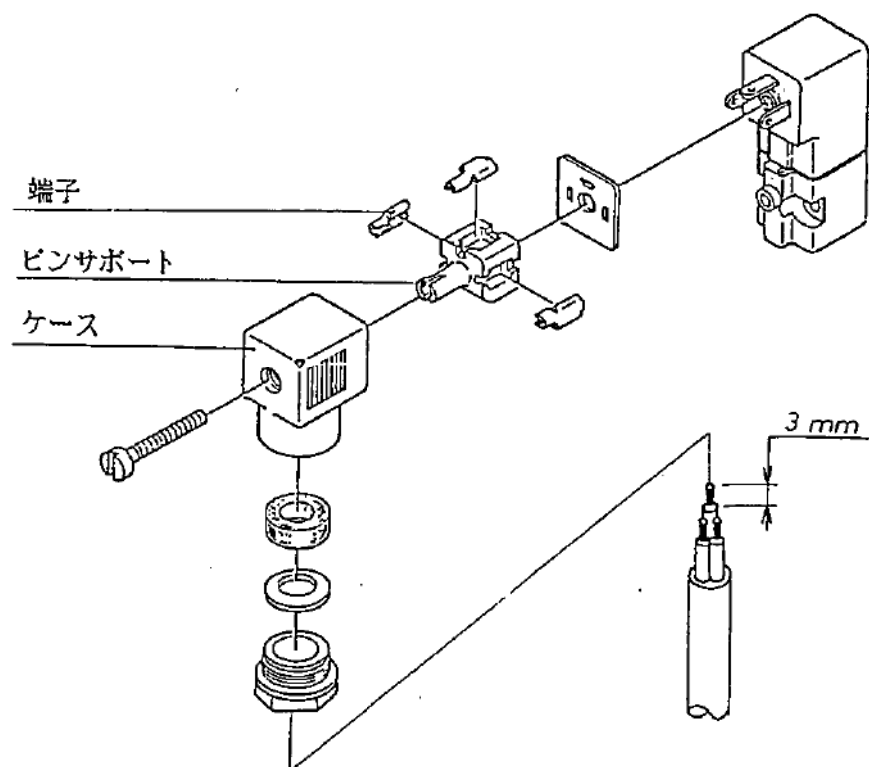
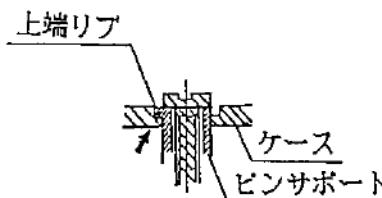
コネクタ結線方法

コネクタ(C01、C03)は下図を参照し、①～⑥の手順で配線ください。



端子箱について

- ① 端子のカシメは下記の工具を使用してください。
昭和無線工業㈱ CT-1424 (担当品)
- ② カシメた端子をピンサポートへ入れる時は、端子の方向性に注意してください。
- ③ ケースをはめる時は、ピンサポートの上端リブをケース端に引っ掛けるようにしてください。
- ④ リード線は、0.3 ~ 0.75 mmのサイズをご使用ください。
- ⑤ ケースのリード線引出口は、90° ずつ4方向に出すことができます。
- ⑥ キャブタイヤコードを使用の場合は、JIS C3306 VCTF 0.75mm 2芯、外径φ6.6 以下のものを使用してください。



キャブタイヤコード寸法

ケース方向	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③
コード寸法				

配線上の注意

- (1) DIN端子箱で防水性を要求される場合は、外径 $\phi 6.6$ 以下のキャプタ
イヤコードを使用ください。
- (2) コネクタタイプ (C、C1、C2、C3) は塵埃の少ない場所及び水・
油等が直接かからない場所でご使用ください。
- (3) 電圧は、定格電圧の $\pm 10\%$ 範囲内で使用してください。
- (4) 無接点回路を使用する場合、漏れ電流に注意してください。
ACコイルは、定格電流の 10% 以下 (漏れ電流 1mA 以下)
DCコイルは、定格電流の 1% 以下の機器を選定してください。

メンテナンスサービス

1. バルブの分解組立

- (1) ソレノイド⑭を取る時は、取付ビス②を外してください。
- (2) 両側のキャップ④を取る時は取付ビス③を外してください。
- (3) ソレノイド側については各々のシリンダ⑩を引っぱり出してください。
- (4) ピストン⑪をソレノイドの反対側に押し出すと、内臓物がバルブボデー⑨より出てくる。

詳細は下図を参照ください。

2. ユニットを組み立てる前に、ホコリの少ない場所でピストン、スプール、スプールパッキンの内側などの表面にゴミがない様にきれいにふき取ってください。

